

第3回TUPRePクロストーク

パンデミック条約と国際保健
規則の改正：交渉の現状と論点

2024年1月11日（木）

18:00 – 19:30（議論が続けば延長）

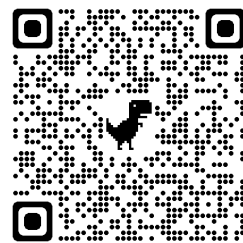
開催形式：対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド

対面会場：東北大学医学部6号館1階 カンファレンスルーム1

星陵キャンパスMAP08 (<http://bit.ly/40GFWp7>)

- 参加者：東北大学の教員・学生 / 東北大学外の研究者・学生
パンデミックに関する学際研究に関心のある方（若手研究者歓迎）
できれば対面会場で討論に参加していただくことを推奨します
- 交流会：対面会場では終了後に簡単な交流会を実施
- 使用言語：日本語

参加登録

<https://forms.gle/5bAF7DApsU5UPj9P9>

話題提供

東北大学理事・副学長
東北大学国際法政策
センター長 植木俊哉東北大学法学研究科
教授 西本健太郎

概要

COVID-19パンデミックを受けて、世界保健機関（WHO）ではパンデミック対応の強化を目的に、パンデミックへの対応に関する新たな法的文書（いわゆる「パンデミック条約」）の作成と国際保健規則（IHR）の改正に関する交渉が行われています。今回は、これらの交渉の現状を紹介し、その主な論点について検討します。